

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010106

事業名		管渠築造事業		担当部署	上下水道部 下水道課		
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
令和3年度決算額		1,233,598	千円	項目評価		総合評価 A	
財源内訳	国道支出金	185,460	千円				
	地方債	897,775	千円				
	その他	2,825	千円				
	一般財源	147,538	千円				
事業費（総計）		1,233,598	千円				
決算額		1,233,598	千円				
人件費		0	千円				
事業の目的		下水道管は、汚水や雨水を排除することで、衛生的な市民生活を維持すると共に、大雨の浸水被害を軽減する重要な施設です。その機能を維持するため、下水道管の整備や老朽化した下水道管の改築更新を計画的に行います。					
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 汚水管整備について 新開町などの下水道未整備箇所において、汚水管を整備しました。 雨水管整備について 近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、糸井地区などで雨水管整備や、沼ノ端地区で雨水ポンプ所のポンプ更新、バイパス管整備などの大雨対策を実施しました。 老朽化対策について 管渠の流下機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、汐見町などで老朽化した管渠の改築更新を実施しました。 		 【下水道管新設工事】 【下水道管改築工事】			
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		下水道普及率		%	99.3	99.2	99.2
		雨水面積整備率		%	75.1	74.8	74.7
		改築・更新延長		km	21.9	18.3	13.2
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				下水道管の整備や改築更新を行う事業であり、衛生的で安全安心な市民生活に欠かすことができない事業です。	
効率性			●			国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。	
公平性		●				公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。	
将来性			●			衛生的で安全安心な市民生活を維持するため、継続して事業を実施していく必要があります。	
総合評価		A		衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない下水道整備を、国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に実施しています。			
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010107

事業名		ポンプ場築造事業		担当部署	上下水道部 下水道課		
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
令和3年度決算額		83,443	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	41,140	千円				
	地方債	42,087	千円				
	その他	216	千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）		83,443	千円				
決算額		83,443	千円				
人件費		0	千円	総合評価	A		
事業の目的		ポンプ場は、汚水を下水処理センターに送水することで、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿命化や改築更新を計画的に行います。					
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 老朽化対策について</p> <p>ポンプ場の機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、汐見町中継ポンプ場の監視制御設備や、沼ノ端中継ポンプ場の電源設備など、老朽化した設備の更新を実施しました。</p>					
		<p>【汐見町中継ポンプ場監視制御設備】</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		更新機器数		点	2	6	4
項目評価		高→低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				ポンプ場の施設整備や改築更新を行う事業であり、衛生的な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。	
効率性			●			国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。	
公平性		●				公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。	
将来性			●			衛生的な市民生活を維持するため、継続して事業を実施していく必要があります。	
総合評価		A				衛生的な市民生活の維持に欠かすことができないポンプ場の施設整備を、国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に実施しています。	
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010108

事業名		下水道処理場築造事業		担当部署	上下水道部 下水道課						
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例									
令和3年度決算額		564,917	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	250,982	千円	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 将来性 効率性 </div>							
	地方債	299,738	千円								
	その他	1,430	千円								
	一般財源	12,767	千円								
事業費（総計）		564,917	千円				<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 将来性 効率性 </div>				
決算額		564,917	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		下水処理センターは、汚水を浄化することで公共用水域の水質を保全し、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿化や改築更新を計画的に行います。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 老朽化対策について 下水処理センターの機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、高砂下水処理センターの反応タンク設備の更新や、西町下水処理センター管理本館の耐震化を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		更新機器数			点	36	23	34			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							下水処理センターの施設整備や改築更新を行う事業であり、衛生的な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。		
効率性			●						国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。		
公平性		●							公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。		
将来性			●			衛生的な市民生活を持続するため、継続して事業を実施していく必要があります。					
総合評価		A				衛生的な市民生活の維持に欠かすことができない下水処理センターの施設整備を、国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に実施しています。					
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 04固定資産取得費

事務事業番号 01010409

事業名		固定資産整備		担当部署	上下水道部 下水処理センター																																		
根拠法令		下水道法、水質汚濁防止法																																					
令和3年度決算額		2,720	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他		千円																																				
	一般財源	2,720	千円																																				
事業費（総計）		2,720	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 10px;">A</div>																																			
決算額		2,720	千円																																				
人件費		0	千円																																				
事業の目的		下水処理センターからの放流水が法令に定める水質基準に適合しているかどうかを調べるため、水質検査を実施する必要がありますが、検査に使用するための機器類が老朽化しているため更新を行いました。																																					
事業の内容		<p>1 水質検査用機器類の更新</p> <p>(1) ジェット式器具洗浄機 1台 水質検査用の器具を洗浄するための機器</p> <p>(2) インキュベーター 1台 検体を一定の温度に保ち保管するための機器</p> <p>(3) デジタルビューレット 2台 水質検査(滴定)、試薬の分注に使用する機器</p>																																					
SDGs17の目標																																							
実施結果(活動指標)		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水質検査機器の更新</td> <td>台</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	水質検査機器の更新	台	4	4	4											<p>【ジェット式器具洗浄機】</p>													
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																																			
水質検査機器の更新	台	4	4	4																																			
項目評価		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">高→低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>各種水質基準値の正確な計測のための機器の更新は、放流水の安全性の確認につながります。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>各種機器については、水質検査機器更新計画に従い、老朽化度合いも確認しながら順次更新しています。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>機器更新を計画的に行うことで、水質検査が適正に実施されます。放流水が水質基準に適合しているかどうかは、市民の安全・安心な生活に直結しており、必要不可欠な事業です。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>今後も計画的に水質検査用機器を更新することで、正確かつ効率的に水質検査業務を実施できるようになります。</td> </tr> </tbody> </table>				項目	高→低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				各種水質基準値の正確な計測のための機器の更新は、放流水の安全性の確認につながります。	効率性		●			各種機器については、水質検査機器更新計画に従い、老朽化度合いも確認しながら順次更新しています。	公平性	●				機器更新を計画的に行うことで、水質検査が適正に実施されます。放流水が水質基準に適合しているかどうかは、市民の安全・安心な生活に直結しており、必要不可欠な事業です。	将来性		●			今後も計画的に水質検査用機器を更新することで、正確かつ効率的に水質検査業務を実施できるようになります。
項目	高→低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性	●				各種水質基準値の正確な計測のための機器の更新は、放流水の安全性の確認につながります。																																		
効率性		●			各種機器については、水質検査機器更新計画に従い、老朽化度合いも確認しながら順次更新しています。																																		
公平性	●				機器更新を計画的に行うことで、水質検査が適正に実施されます。放流水が水質基準に適合しているかどうかは、市民の安全・安心な生活に直結しており、必要不可欠な事業です。																																		
将来性		●			今後も計画的に水質検査用機器を更新することで、正確かつ効率的に水質検査業務を実施できるようになります。																																		
総合評価		A				<p>目的に適った固定資産の整備ができています。翌年度以降もより効果的な事業とするため、導入予定の固定資産の有効性、業務効率化について十分検討し、費用対効果の高い資産整備を実施していきたいと考えています。</p>																																	
特記事項																																							